

平成29年度（平成29年10月入学）
平成30年度（平成30年4月入学）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

【博士課程】

学生募集要項

（ 一 般 入 試 ）
社 会 人 特 別 入 試
外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

新潟大学大学院医歯学総合研究科

☆ 入試日程

	平成 29 年 10 月入学	平成 30 年 4 月入学 ＜第 1 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	平成 29 年 6 月 23 日(金)【必着】	平成 29 年 6 月 23 日(金)【必着】
出願期間	平成 29 年 7 月 18 日(火)～7 月 21 日(金)【必着】	平成 29 年 7 月 18 日(火)～7 月 21 日(金)【必着】
試験日	平成 29 年 8 月 22 日(火)	平成 29 年 8 月 22 日(火)
合格発表	平成 29 年 9 月 15 日(金)	平成 29 年 9 月 15 日(金)
入学手続期間	平成 29 年 9 月 22 日(金)～9 月 25 日(月)	平成 30 年 2 月 28 日(水)～3 月 2 日(金)

	平成 30 年 4 月入学 ＜第 2 次募集＞	平成 30 年 4 月入学 ＜第 3 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	平成 29 年 10 月 19 日(木)【必着】	平成 29 年 12 月 15 日(金)【必着】
出願期間	平成 29 年 11 月 13 日(月)～11 月 16 日(木)【必着】	平成 30 年 1 月 9 日(火)～1 月 11 日(木)【必着】
試験日	平成 29 年 12 月 8 日(金)	平成 30 年 2 月 7 日(水)
合格発表	平成 30 年 1 月 17 日(水)	平成 30 年 3 月 16 日(金)
入学手続期間	平成 30 年 2 月 28 日(水)～3 月 2 日(金)	平成 30 年 3 月 23 日(金)～3 月 26 日(月)

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

新潟大学ホームページ： <http://www.niigata-u.ac.jp/>

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
I. 平成 29 年度（平成 29 年 10 月入学）入試	
○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	5
2. 出願資格	6
3. 出願期間及び出願書類等提出先	7
4. 出願書類等	8
5. 入学者の選抜方法等	10
6. 試験場	11
7. 合格者の発表及び入学手続	12
8. 授業料	12
9. その他	12
II. 平成 30 年度（平成 30 年 4 月入学）入試	
○ 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
1. 募集人員	13
2. 出願資格	14
3. 出願期間及び出願書類等提出先	15
4. 出願書類等	16
5. 入学者の選抜方法等	18
6. 試験場	20
7. 合格者の発表及び入学手続	20
8. 授業料	21
9. その他	21
III. 出願資格の確認	23
IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）	
V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科入学案内	27

☆問い合わせ先

- ・分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地
新潟大学医学部医学科学務係
TEL (025) 227-2017
- ・口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部学務係
TEL (025) 227-2798・2799

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

分子細胞医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、分子細胞医学専攻は、分子細胞生物学的手法を駆使して、疾患の成り立ちの解明、予防法、治療法の研究と開発を行うとともに、分子細胞医学に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生命現象や疾患の成り立ちなどを遺伝子、タンパク、細胞レベルで解析する「遺伝子制御」、「シグナル伝達」、「細胞機能」、「分子情報医学」、「新領域開拓研究センター」、「連携大学院」（東京都医学総合研究所、放射線医学総合研究所）の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した29の教育研究分野があります。29の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「ライフサイエンス研究概論」を、専攻共通選択科目として「動物実験法演習」、「分子生物学演習」、「細胞機能研究法演習」、「組織構造研究法演習」を履修し、分子細胞医学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

生体機能調節医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、生体機能調節医学専攻は、生体を臓器、器官の面から総合的に捉え、生体機能、病態を解析する研究を行い、疾患の予防法、治療法を開発するとともに、生体機能調節に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生体を臓器や器官のレベルで総合的に解析する「内部環境医学」、「器官制御医学」、「機能再建医学」、「感覚統合医学」、「腎科学」、「可塑性機能制御」の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した36の教育研究分野があります。36の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「生体調節研究概論」を、専攻共通選択科目として「生体機能研究法演習」、「移植医学演習」、「脳機能イメージング演習」、「器官臓器実験法演習」を履修し、臓器・器官レベルの生命活動に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

地域疾病制御医学専攻（医学系専攻）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、地域疾病制御医学専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から分析する研究を行い、少子高齢化、情報化社会に対応する地域的疾患の予防法、制御法を開発するとともに、それらに関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から総合的に解析する「国際感染医学」、「地域予防医学」、「総合医療評価学」の3つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した15の教育研究分野があります。15の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「地域疾病制御概論」を、専攻共通選択科目として「医療統計学演習」、「感染学演習」、「免疫研究法演習」、「理論疫学演習」を履修し、感染症・免疫学、国際保健、予防医学、医療統計学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として3つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

【求める学生像】（医学系3専攻共通）

1. 先端生命科学を担う研究者を目指す人
2. 医学・医療の分野で、高度専門職業人として社会に貢献する意志と意欲のある人
3. 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行したい人

【入学者選抜の基本方針】（医学系3専攻共通）

○一般入試・社会人特別入試

- ・医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を持つとともに、志望する教育研究分野への高い理解度を持つ人を選抜します。
- ・個別学力検査では、専門科目と英語を課し、志望する研究教育分野に対する高い理解度、研究に必要な語学力を評価します。

○外国人留学生特別入試

- ・医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を持つとともに、志望する教育研究分野への高い理解度を持つ人を選抜します。
- ・個別学力検査では、専門科目と英語を課し、志望する研究教育分野に対する高い理解度、研究や周囲とのコミュニケーションに必要な語学力を評価します。

口腔生命科学専攻（歯学系専攻）

【教育理念・目標】

理念

生命科学や技術の著しい進歩，少子・高齢社会，歯科疾病構造の変化，多様化する社会的ニーズに対応するため，先端的口腔生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに，その成果を歯科医療の進展に生かす探索型研究を推進し，地域社会と世界の歯科医療に貢献することを理念とします。

目標

1. 口腔科学に関する教育・研究に取り組み，自ら研究課題を開拓し，独創的な研究を遂行する能力のある研究者を育成します。
2. 科学的基盤をもち超高齢社会で指導者となる高度医療専門職業人を育成します。
3. 社会人入学制度を活用した現場ニーズに立脚したリカレント教育を行います。

【教育内容・特色】

教育内容

共通科目として外国人教員によるアカデミック・ライティング，リーディング，研究計画立案に不可欠な実践統計学ベーシックコースを開講するとともに，コースワーク科目にて専門基礎的知識，技能を習得します。講義・演習のカリキュラム編成の基本は基礎・臨床融合型，学際的教育内容としています。

特色

1. 学際的かつ先進的な教育・研究の推進
2. 多様な歯科医療課題への柔軟な対応
3. 戦略的プロジェクト研究制度の導入
4. 生涯教育の充実
5. TA・RA 制度を活用した学生支援

【求める学生像】

1. 歯学分野における指導的な研究者あるいは高度専門職業人として，社会に貢献できる人
2. 自ら研究課題を開拓し，独創的な研究を遂行したい人
3. 探索型研究による成果をもとに地域及び世界の歯科医療に貢献できる人

【入学者選抜の基本方針】

論理的な思考力，専門基礎学力をもち，志望する教育研究分野の専門科目に対する高い理解度を持ち，研究に必要な語学力を有する人を選抜します。

I. 平成 29 年度（平成 29 年 10 月入学）入試

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

○ 平成 29 年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（平成 29 年 10 月入学）の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専攻	大講座	募集人員	備考
分子細胞医学専攻	遺伝子制御	若干人	募集人員の中には、一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細胞機能		
	分子情報医学		
	新領域開拓研究センター		
	連携大学院		
生体機能調節医学専攻	内部環境医学	若干人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎科学		
	可塑性機能制御		
地域疾病制御医学専攻	国際感染医学	若干人	
	地域予防医学		
	総合医療評価学		
口腔生命科学専攻	口腔健康科学	若干人	
	摂食環境制御学		
	顎顔面再建学		

(注) 出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号，Eメールアドレスは入学案内（27 ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成 29 年 9 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 29 年 9 月までに修了見込みの者（24 ページ参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 29 年 9 月までに修了見込みの者（24 ページ参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 29 年 9 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 29 年 9 月までに授与される見込みの者（24 ページ参照）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（7 ページの注を参照）
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（25 ページ参照）
- (9) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を平成 29 年 9 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは平成 29 年 9 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（26 ページ参照）
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 29 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者（26 ページ参照）

注 「2. 出願資格 (7)」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（24 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（25 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(10)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、23ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格 (7)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

平成29年7月18日（火）から7月21日（金）まで（必着）

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

- 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科学務係
電話 (025)227-2017
- 口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025)227-2798・2799

4. 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出願書類等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
② 検 定 料 30,000 円	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、平成 29 年 7 月 11 日（火）から 7 月 21 日（金） [15 時 00 分] までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日・祝日の振込みは、できません。）</p> <p>③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
④ 卒業（見込）証明書又は学位授与証明書	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書を提出してください。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p>

<p>⑤ 返信用封筒 3枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中 	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手372円分を貼ってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。</p>
--	--

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

<p>⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証 明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとします。ただし、学位記の写しで代えることができます。</p>
<p>⑦ 大学院修士課程 成績証明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。</p>
<p>⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。</p>
<p>⑪ 在留カードの写し 又はパスポートの写し (外国人留学生特 別入試出願者のみ)</p>	<p>在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。</p>

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日 (火)	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，平成8年以降，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。

免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。
注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日 (火)	13:00～14:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	15:00～	口 述 試 験 （志願する教育研究分野から出題）

注）辞書については，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日 (火)	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，平成8年以降，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研

究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。
 免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。
 注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。
 注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日(火)	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし，併せて外国語の学力も試験します。)

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日(火)	10:00～11:15	外国語（英語） (辞書持ち込み可)
	13:00～14:30	専 門 科 目 (第一志望の教育研究分野から出題)
	15:00～16:30	専 門 科 目 (第二志望の教育研究分野から出題)

注1）希望により，平成8年以降，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。
 免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。
 注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。
 注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
平成 29 年 8 月 22 日(火)	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし，併せて外国語の学力も試験します。)

6. 試 験 場

- 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地)
- 口腔生命科学専攻
新潟大学歯学部 (新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

- 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻
平成 29 年 9 月 15 日 (金) 午前 10 時 医学部大講義室前

- 口腔生命科学専攻
平成 29 年 9 月 15 日 (金) 午前 10 時 歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また、発表と同時に、合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお、合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

平成 29 年 9 月 22 日 (金) から 9 月 25 日 (月) まで (必着)

郵送または持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前 8 時 30 分から午後 5 時までとします。土・日曜日の受付は行いません。

② 入学に要する経費

- 入 学 料 282,000 円 (予定額)

(注) 入学料免除希望者は、入学手続時に入学料を納付しないでください。

8. 授業料

年額 535,800 円 (前期分 267,900 円, 後期分 267,900 円) [予定額]

(注 1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納入していただく予定です。

(注 2) 授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注 3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9. その他

(1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

(2) 障がい等を有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成 29 年 6 月 23 日 (金) までに「出願書類等提出先 (7 ページ参照)」に相談してください。

(3) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に「出願書類等」を提出しなかった場合は、当該検定料 (30,000 円) を返還します。

詳細は、本学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話 (025) 262-6053

Ⅱ. 平成 30 年度（平成 30 年 4 月入学）入試

（第 1 次募集・第 2 次募集・第 3 次募集）

一 般 入 試

社 会 人 特 別 入 試

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

○ 平成 30 年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（平成 30 年 4 月入学）の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専 攻	大 講 座	募集人員	備 考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	22人	第1次募集，第2次募集及び第3次募集をあわせた募集人員です。 募集人員の中には，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
	新 領 域 開 拓 研究センター		
	連 携 大 学 院		
生体機能調節 医学専攻	内部環境医学	37人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地域疾病制御 医学専攻	国際感染医学	14人	
	地域予防医学		
	総合医療評価学		
口腔生命科学専攻	口腔健康科学	28人	
	摂食環境制御学		
	顎顔面再建学		
計		101人	

(注) 出願に際しては，あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号，Eメールアドレスは入学案内（27 ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別入試については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は獣医学を履修した者に限る。）及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者（24 ページ参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者（24 ページ参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者（24 ページ参照）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（15 ページの注を参照）
- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（25 ページ参照）
- (9) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を平成 30 年 3 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは平成 30 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（26 ページ参照）
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（26 ページ参照）

注 「2. 出願資格の(7)」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（24 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（25 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(10)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、23ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格の(7)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

第1次募集	平成29年7月18日(火)～7月21日(金) 【必着】
第2次募集	平成29年11月13日(月)～11月16日(木) 【必着】
第3次募集	平成30年1月9日(火)～1月11日(木) 【必着】

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。
郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

- 分子細胞医学専攻、生体機能調節医学専攻、地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科学務係
電話 (025)227-2017

- 口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025)227-2798・2799

4. 出願書類等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出願書類等	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ①・受験票 ・写真票 	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ② 検定料 <p>30,000円</p>	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日・祝日の振込みは、できません。）</p> <p>第1次募集 平成29年7月11日（火）から7月21日（金） [15時00分]</p> <p>第2次募集 平成29年11月6日（月）から11月16日（木） [15時00分]</p> <p>第3次募集 平成30年1月4日（木）から1月11日（木） [15時00分]</p> <p>③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用） 	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>

<p>④ 卒業（見込） 証明書又は学位授与証明書</p>	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとします。ただし、学位記（卒業証書）の写しで代えることができます。出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書を提出してください。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p>
<p>⑤ 返信用封筒 3枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験関係書類在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中 	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手372円分を貼ってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。</p>

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

<p>⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証 明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとします。</p> <p>ただし、学位記の写しで代えることができます。</p>
<p>⑦ 大学院修士課程 成績証明書</p>	<p>大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。</p>
<p>⑧ 研究概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑨ 臨床経験概要 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
<p>⑩ 受験承諾書 (社会人特別入試 出願者のみ)</p>	<p>出願時に在職中の者は、本要項に添付の様式による書面に、所属長の公印で承諾されたものを提出してください。</p>
<p>⑪ 在留カードの写し 又はパスポートの写し (外国人留学生特別入試出願者のみ)</p>	<p>在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。</p>

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 平成29年12月8日（金）	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 平成30年2月7日（水）	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，平成8年以降，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。
免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）辞書については，電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	13:00～14:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 平成29年12月8日（金）		
第3次募集 平成30年2月7日（水）	15:00～	口 述 試 験 （志願する教育研究分野から出題）

注）辞書については，電子辞書，医学辞書（辞典）及び歯学辞書（辞典）は不可とします。

(2) 社会人特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	10:00～11:15	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 平成29年12月8日（金）	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 平成30年2月7日（水）	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1) 希望により、平成8年以降、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。

免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。
注2) 専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3) 辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、併せて外国語の学力も試験します。)
第2次募集 平成29年12月8日（金）		
第3次募集 平成30年2月7日（水）		

(3) 外国人留学生特別入試

学力検査の日時及び試験内容

○ 分子細胞医学専攻、生体機能調節医学専攻、地域疾病制御医学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	10:00～11:15	外国語（英語） (辞書持ち込み可)
第2次募集 平成29年12月8日（金）	13:00～14:30	専 門 科 目 (第一志望の教育研究分野から出題)
第3次募集 平成30年2月7日（水）	15:00～16:30	専 門 科 目 (第二志望の教育研究分野から出題)

注1) 希望により、平成8年以降、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。
免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2) 専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3) 辞書については、電子辞書及び医学辞書（辞典）は不可とします。

○ 口腔生命科学専攻

試験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 平成29年8月22日（火）	13:00～15:00	口 述 試 験 (志願する教育研究分野を中心とし、併せて外国語の学力も試験します。)
第2次募集 平成29年12月8日（金）		
第3次募集 平成30年2月7日（水）		

6. 試 験 場

- 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻
新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地)

- 口腔生命科学専攻
新潟大学歯学部 (新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

- 分子細胞医学専攻, 生体機能調節医学専攻, 地域疾病制御医学専攻

第 1 次募集	平成 29 年 9 月 15 日 (金) 午前 10 時	医学部大講義室前
第 2 次募集	平成 30 年 1 月 17 日 (水) 午前 10 時	医学部大講義室前
第 3 次募集	平成 30 年 3 月 16 日 (金) 午前 10 時	医学部大講義室前

- 口腔生命科学専攻

第 1 次募集	平成 29 年 9 月 15 日 (金) 午前 10 時	歯学部正面玄関前
第 2 次募集	平成 30 年 1 月 17 日 (水) 午前 10 時	歯学部正面玄関前
第 3 次募集	平成 30 年 3 月 16 日 (金) 午前 10 時	歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表します。

また, 発表と同時に, 合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお, 合否に関する電話等による問い合わせには, 一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は, 次のとおりです。詳細については, 合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第 1 次募集	平成 30 年 2 月 28 日 (水) から 3 月 2 日 (金) まで (必着)
第 2 次募集	
第 3 次募集	平成 30 年 3 月 23 日 (金) から 3 月 26 日 (月) まで (必着)

郵送または持参してください。郵送の場合は, 書留速達とし, 持参の場合は午前 8 時 30 分から午後 5 時までとします。土・日曜日の受付は行いません。

② 入学に要する経費

- 入 学 料 282,000 円 (予定額)

(注) 入学料免除希望者は, 入学手続時に入学料を納付しないでください。

8. 授業料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

- （注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納入していただく予定です。
- （注2） 授業料の納入方法の詳細については，合格者に別途通知します。
- （注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

9. その他

- (1) 出願書類等提出後は，記載事項の変更は認めません。
- (2) 障がい有者で，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，出願前に出願書類等提出先（15，16 ページ参照）に相談してください。
- (3) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。
ただし，検定料振込み後，出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は，当該検定料（30,000 円）を返還します。
詳細は，本学ホームページ（<http://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。
なお，請求書の郵送を希望される方は，財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話 (025) 262-6053

Ⅲ. 出 願 資 格 の 確 認

「2. 出願資格の(3), (4)及び(6)～(10)」に該当する者については、必ず下記「5 問い合わせ先」へ電話連絡の上、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

ただし、「2. 出願資格の(7)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

なお、事前連絡なく出願があった場合は、受理できない場合があります。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお、外国語で作成された書類には、日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格の審査書類は、持参（午前8時30分から午後5時までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）または、郵送により送付してください。

3 提出期限

平成 29 年 10 月入学	平成 29 年 6 月 23 日（金）【必着】
平成 30 年 4 月入学 （第 1 次募集）	
平成 30 年 4 月入学 （第 2 次募集）	平成 29 年 10 月 19 日（木）【必着】
平成 30 年 4 月入学 （第 3 次募集）	平成 29 年 12 月 15 日（金）【必着】

4 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願期間開始前までに、本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は、出願手続を行ってください。

5 問い合わせ先

○ 分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻
〒951-8510 新潟市中央区旭町通 1 番町 757 番地
新潟大学医学部医学科学務係
電話 (025)227-2017

○ 口腔生命科学専攻
〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025)227-2798・2799

○各出願資格について

1. 「出願資格（3），（4）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 出願資格確認用履歴書	
③ 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 成績証明書	
⑤ 研究業績調書及び研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑥ 在留カードの写し又はパスポートの写し（外国人留学生特別入試出願者のみ）	在留カードの写し（表裏両面）を提出して下さい。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手372円分を貼ってください。

※ ③，④については，本物（オリジナル）を提出し，必ず和訳文を添付してください。

2. 「出願資格（6）」により出願する場合には，審査に必要な書類を指示しますので前頁の問い合わせ先に連絡してください。

3. 「出願資格（7）の注③」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 修了（見込）証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手372円分を貼ってください。

4. 「出願資格（7）の注④」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	本要項に添付の所定用紙により、大学等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等がある場合は、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 臨床経験証明書及び職務内容証明書	臨床経験がある場合のみ提出してください。（様式任意）
⑥ 在留カードの写し又はパスポートの写し（外国人留学生特別入試出願者のみ）	在留カードの写し（表裏両面）を提出して下さい。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

5. 「出願資格（8）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 成績証明書	出身大学の学長（学部長）及び在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 在学証明書	在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。 なお、本学大学院在学者は不要です。
④ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

6. 「出願資格（9）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 在学証明書	現在も在学中の者のみ、在学大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。 なお、本学在学者は不要です。
③ 成績証明書	在学（出身）大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	業績・研究等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により提出してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

※ 本出願資格で入学する者は、当該大学の学部を退学することになります。従って種々の国家試験等の受験資格で大学の学部を卒業することを要件としているものについては、受験資格が得られないこととなります。

7. 「出願資格（10）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身学校長が発行したものとします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
③ 成績証明書	最終出身学校長が発行したものとします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	学校等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等（短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、専攻科等における業績、研究状況等を含む。）がある場合は、本要項の所定用紙により、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）

1. 組織及び教育研究内容

- 注1. Telは「025（市外局番）-227（局番）」の表記を、e-mailは「niigata-u.ac.jp」の表記を省略しています。
 （分子細胞医学専攻の連携大学院を除く。）
 注2. ※の指導教員は兼任を示します。
 注3. 指導教員が不在の分野は、問い合わせ先を掲載しています。

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	遺伝子制御	分子生物学	小松 雅明 Tel 2077 e-mail komatsu-ms@med.	<ul style="list-style-type: none"> オートファジーの分子機構の解明 オートファジーの生理的意義の解明 オートファジーの異常によって引き起こされる病気（肝がん, 神経変性疾患等）の原因の解明 タンパク質修飾システムUFM1システムによる細胞内制御機構の解明 UFM1システムの遺伝子変異によって引き起こされる遺伝性発達障害の分子機構の解明
		分子・診断病理学	※ 味岡 洋一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化管癌, 胆道癌及び膵癌, 炎症性腸疾患の形態・分子病理学 外科病理診断学, 画像診断のための病理学
		腫瘍放射線医学	青山 英史 Tel 2315 e-mail h-aoyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> 転移性脳腫瘍における定位照射併用時の全脳照射法最適化に関する研究 脳腫瘍における新評価指標作成に関する国際共同研究 前立腺癌の強度変調放射線治療, 小線源治療後の予後・QOLに関する研究 画像誘導による照射精度向上に関する研究
		生殖器官制御	榎本 隆之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	<ul style="list-style-type: none"> 子宮内膜症に関する疾患感受性遺伝子の同定 卵巣明細胞腺癌の発生に関与する遺伝子の同定 家族性卵巣癌発症メカニズム解明のためのゲノム変化の網羅的検出 卵巣癌における抗癌剤耐性遺伝子の解析 子宮体癌の発症メカニズムの解明 卵巣癌の癌幹細胞同定とin vitro培養系の確立及び臨床への応用
		肝臓病学	※ 寺井 崇二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化器再生医学に関する研究 消化・吸収・代謝に関する研究 代謝に関わる免疫, 脂肪化, 線維化, 癌化に関する研究 バイオマテリアルを用いた応用研究・橋渡し研究（遺伝子治療, 細胞治療, 内視鏡を用いた低侵襲治療）
		腫瘍外科学	※ 若井 俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍外科学に関する研究 早期DNA損傷修復機構に関する研究 抗癌剤耐性機序/抗癌剤増感作用に関する研究 次世代型シーケンス解析・プロテオーム解析を用いた癌の分子生物学
		分子薬理学	問合せ先 准教授 村瀬 真一 Tel 2090 e-mail murase@med.	<ul style="list-style-type: none"> 薬物による遺伝子転写制御の研究 記憶・神経分化に関わる神経遺伝子転写制御の研究 遺伝子転写制御因子の神経伝達物質受容体による調節
		分子精神医学	※ 染矢 俊幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の分子遺伝学 精神疾患の分子生物学
		腫瘍学	西條 康夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍内科学一般 がん薬物療法, 特に分子標的治療に関する研究 幹細胞と臓器再生に関する研究
		シグナル伝達	分子細胞機能学	五十嵐 道弘 Tel 2083 e-mail tarokaja@med.

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	シグナル伝達	薬理学	問合せ先 准教授 村瀬 真一 Tel 2090 e-mail murase@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・高次中枢機能（感情・依存・摂食）における神経ペプチドの役割 ・神経ペプチド，神経栄養因子受容体の分子薬理学 ・循環器系作用薬の分子作用機序に関する研究
		分子腫瘍学	※ 富田 善彦 Tel 2285 e-mail ytomita@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿生殖器腫瘍一般 ・泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 ・泌尿生殖器腫瘍の治療 <ul style="list-style-type: none"> a 化学療法 b 免疫療法 c 手術療法と尿路再建
	細胞機能	顕微解剖学	牛木 辰男 Tel 2058 e-mail t-ushiki@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・走査電子顕微鏡による生体組織構造解析 ・走査プローブ顕微鏡による細胞イメージング ・細胞と組織の細胞生物学的・形態学的機能解析
		分子細胞病理学	近藤 英作 Tel 2104 e-mail ekondo@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの分子病理学的特徴の解析 ・ヒト腫瘍病理組織の多角的な解析 ・がん遺伝子，がん抑制遺伝子の新規機能解析 ・先端制がん医療技術の開発研究
		消化器内科学	寺井 崇二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性肝炎に関する研究 ・肝癌の病態生理に関する研究 ・肝炎患の免疫に関する研究 ・消化管腫瘍の病態に関する研究 ・炎症性腸疾患に関する研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究
		皮膚科学	阿部 理一郎 Tel 2282 e-mail aberi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・毛組織関連遺伝子発現の研究 ・皮膚電子顕微鏡学 ・皮膚遺伝性疾患の研究 ・皮膚アレルギー疾患の研究 ・OASアレルギーの同定 ・5-hmC機能の解析
		生殖医学病態解析	※ 榎本 隆之 Tel 2317 e-mail enomoto@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮内膜症に関する疾患感受性遺伝子の同定 ・内膜症関連卵巣がんの発癌メカニズムの解明 ・婦人科癌における治療標的融合遺伝子の同定 ・婦人科悪性腫瘍がん幹細胞の特性解明 ・多嚢胞性卵巣症候群における若年子宮内膜癌発症に関する遺伝学的研究 ・乏精子症患者の精子の保存法の研究 ・未受精卵凍結保存の卵生存率及び受精率向上のための研究
		分子・病態病理学	味岡 洋一 Tel 2093 e-mail ajioka@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管癌の細胞機能分析 ・消化器癌の細胞粘液形質と組織発生・生物学的悪性度の解析
		生殖・周産期医学病態解析	高桑 好一 Tel 2320 e-mail obgy@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・不育症と同種免疫 ・生殖異常と自己免疫異常 ・妊娠高血圧症候群の病態と免疫異常 ・妊娠高血圧症候群の遺伝的背景
	分子情報医学	細胞神経生物学	問合せ先 准教授 阿部 学 Tel 0620 e-mail manabu@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・発生工学を用いた脳機能解析モデル動物の作成 ・脳高次機能の分子基盤解析 ・シナプス伝達機構の分子機序 ・グルタミン酸受容体の分子生物学 ・神経疾患病態モデルマウスの作成と解析
		分子神経生物学	那波 宏之 Tel 0613 e-mail hnawa@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経栄養因子・サイトカインの脳神経作用の解析 ・ニューロンでの細胞内シグナル伝達機序の解明 ・脳神経細胞の発達可塑性と分子メカニズムの研究 ・発達性精神疾患のモデル動物の評価・分析 ・新規の抗精神病薬の開発とその評価
		神経内科学	小野 寺 理 Tel 0683 e-mail onodera@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経変性疾患の分子病態の解明と治療に関する研究 ・神経症状と，その機序，病態評価に対する研究 ・脳血管障害の病態と治療に関する研究 ・免疫性神経筋疾患の病態と治療に関する研究 ・ヒト、マウス、魚、ハエを利用した神経難病の病態研究 ・脳神経回路の再編，再生に関する研究

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	分子情報医学	神経外科学	藤井 幸彦 Tel 0650 e-mail yfujii@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 中枢神経腫瘍の病態・治療の研究 脳血管障害の病態・治療の研究 機能的脳疾患の病態・治療の研究 小児脳神経疾患の病態・治療の研究 ヒト高次脳機能の病態・治療の研究 ヒト脳皮質再構築の機序と臨床応用の研究
		発生・生殖工学	笹岡 俊邦 Tel 2163 e-mail sasaoka@bri	<ul style="list-style-type: none"> 神経伝達物質と特異受容体に着目した、ヒトの運動調節や学習記憶の機序の解明 発生工学・生殖工学技術を用いたヒトの疾患モデル動物の開発 パーキンソン病の病因の解明と新規治療法の開発の基礎研究 実験動物における胚・配偶子の凍結保存及び卵巣移植に関する研究 マウス胚バンクにおける基盤技術の開発
		神経病因遺伝学	池内 健 Tel 2343 e-mail ikeuchi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> アルツハイマー病のバイオマーカー研究 アルツハイマー病の関連遺伝子の同定 家族性アルツハイマー病の病態と治療研究 認知症の分子病態研究 神経疾患の生体試料バイオバンク構築
		神経病態学	担当教員不在のため 今年度募集なし	
	新領域開拓研究センター	神経発達学	杉山 清佳 Tel 0391 e-mail sugiyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> 経験が脳の発達を促すメカニズムの研究 脳の発達期（臨界期）を制御する遺伝子群の研究 幼児期における視覚・情動の機能発達メカニズムの研究 脳の柔軟性を大人で再現するための方法を研究
		バイオインフォマティクス	奥田 修二郎 Tel 0390 e-mail okd@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腸内細菌叢のメタゲノムデータの解析手法の研究 腸内細菌叢の相互作用と疾患因子の関連についての研究 がんゲノムデータの解析手法の研究 リン酸化サイトの比較ゲノム研究 各種オミクスデータのデータベース構築
	連携大学院 (客員教授)	先端分子病態学	田中 啓二 Tel 03-5316-3337 e-mail tanaka-kj@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> 細胞内タンパク質分解機構に関する分子から個体レベルに至る包括的研究 ユビキチン代謝系とその異常によって発症する疾病の機構解明 プロテアソームの構造と分子及び生理に関する研究, 特にガン, 神経変性, 免疫の基礎と病態研究
			池田 和隆 Tel 03-6834-2390 e-mail ikeda-kz@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> 依存症のゲノム解析, 行動薬理学的解析, 臨床応用研究 疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析, 行動薬理学的解析, テーラーメイド医療への応用 自閉症, AD/HDなどの発達障害の行動薬理学的, 分子生物学的研究 快・不快情動の分子メカニズム研究
			吉川 欣亮 Tel 03-5316-3311 e-mail kikkawa-ys@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> 哺乳類遺伝学を基盤とした視聴覚疾患の発症に関与する遺伝子群の同定 ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
			西村 幸男 Tel 03-6834-2373 e-mail nishimura-yk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 <ul style="list-style-type: none"> 人工神経接続による脳機能再建法の開発とその臨床応用 脳脊髄損傷後の機能回復メカニズムの解明 意欲・情動による身体運動制御の神経メカニズムの解明 行動制御を支える前頭葉, 大脳基底核, 小脳の構造と機能
鎌田 正 e-mail t_kamada@nirs.go.jp			国立研究開発法人 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 <ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療法の確立に関する研究 	

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容	
生体機能調節医学	内部環境医学	腎・膠原病内科学	成田 一 衛 Tel 2192 e-mail naritai@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・原発性糸球体疾患の原因と病態の分子生物学的解析 ・原発性および続発性腎疾患の臨床病理学的研究 ・新規血液浄化療法の開発と再生医療 ・腎性貧血の治療法に関する研究 ・リウマチ・自己免疫疾患の成因の解明と治療法の開発 ・糖尿病・高血圧の病態解明と治療 ・腎臓病における病態栄養学 ・生活習慣病の成因と予防に関する大規模疫学研究 ・先天性腎疾患の遺伝子解析と治療法の開発 	
		呼吸器内科学	菊地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器疾患に関する研究 ・呼吸器感染症に関する研究 ・心身医学に関する研究 ・胸部悪性腫瘍に関する研究 	
		小児科学	齋藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児・未熟児の発達生理に関する研究 ・小児各種疾患の病態に関する研究（感染症、腎臓、血液・腫瘍、循環器、内分泌・代謝疾患など） ・小児の各種疾患の分子生物学的研究（感染症、腎臓、血液・腫瘍、循環器、内分泌・代謝疾患など） 	
		基礎体液生理学	※ 日比野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・内耳聴覚機能を支える特殊体液の電気生理学的研究 ・内耳体液環境と聴覚感覚細胞の生理連関の計算科学的解析 ・音入力によって内耳に生ずる振動現象の研究 ・内耳機能が立脚するタンパク質や糖鎖などの網羅的同定とそれらの意義の理解 ・難聴を惹起する遺伝子改変動物の解析と病態生理連関の解明 ・理工学の先端技術を駆使した器官機能・薬物動態の生体内計測装置の新規開発 	
		内分泌・代謝学	曽根 博 仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満等の代謝疾患(生活習慣病)とその動脈硬化疾患を含む合併症、各種内分泌疾患の診断治療 ・特に予防医学を中心とした、臨床疫学的アプローチ、コホート研究含む大規模臨床研究、医療ビッグデータ解析、ゲノム等のオミックス解析、メタアナリシス、医療経済学、人工知能の応用 ・遺伝子改変動物を用いたメカニズム解明と新治療法開発のための基礎研究 	
		総合診療医学	問合せ先 准教授 長谷川 隆志 Tel 0718 e-mail htaka@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・全人的医療の実践に関する研究 ・卒前医学教育・卒後臨床研修・後期専門研修・生涯医学教育の一貫性に関する研究 ・多職種連携・チーム医療に関する研究 ・Common Diseases、プライマリ・ケアに関する研究 	
		臨床免疫学	中田 光 Tel 0847 e-mail radical@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・カニクイザルを用いた抗GM-CSF自己抗体産生機序に関する研究 ・間葉系幹細胞との共培養によるB細胞からの自己抗体産生機序に関する研究 ・肺胞蛋白症の発症機序を説明する数学モデルの構築とその検証(27年度学振萌芽研究採択課題) ・次世代シーケンサーによる肺胞蛋白症重症化の分子機構の解明(27年度学振科研基盤B採択課題) 	
		緩和医療学	※ 西條 康 夫 Tel 025-368-9003 e-mail yasosj@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアにおける身体的症状緩和に関する研究 ・緩和医療で使用されるオピオイドを中心とした鎮痛薬の研究 ・がん診断時から緩和ケアを実践するための体制整備に関する研究 	
		器官制御医学	循環器学	南野 徹 Tel 2182 e-mail tminamino@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・心血管系の老化と再生医療に関する基礎・臨床研究 ・動脈硬化や代謝性疾患に関する基礎・臨床研究 ・不整脈の病態と治療に関する基礎・臨床研究 ・心疾患の病態と治療に関する基礎・臨床研究
			呼吸循環外科学	土田 正 則 Tel 2240 e-mail masatsu@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器外科・腫瘍学 ・心臓外科 ・血管外科 ・人工臓器・抗血栓治療 ・心肺及び組織移植

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	器官制御医学	麻酔科学	馬場 洋 Tel 2323 e-mail baba@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔薬の作用メカニズム ・急性痛のメカニズムと術中術後疼痛管理 ・神経障害性疼痛のメカニズムと治療法 ・臨床神経生理・神経薬理（術中神経系モニタリング） ・臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）
		救命救急医学	遠藤 裕 Tel 2337 e-mail endoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制に関する研究 ・侵襲と生体反応に関する研究 ・重症患者管理に関する研究 ・生体モニタリングに関する研究
		病理形態学	※ 近藤 英作 Tel 2104 e-mail ekondo@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫組織化学と病理組織診断 ・分子病理診断技術
	機能再建医学	肉眼解剖学	佐藤 昇 Tel 2045 e-mail nsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・運動神経・骨格筋系の形態形成に関する研究 ・比較形態形成学と進化的考察 ・脳における新規分子の機能に関する研究 ・生体への遺伝子導入と多光子イメージング
			基礎応用器官生理学	日比野 浩 Tel 2071 e-mail hibinoh@med.
		消化器・一般外科学	若井 俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管外科 ・肝臓・胆道・膵臓外科 ・食道・胃外科 ・大腸外科 ・乳腺・内分泌外科 ・外科代謝・栄養学 ・臓器移植（肝臓・膵臓）
		整形外科学	遠藤 直人 Tel 2269 e-mail endless@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器（骨・関節・軟骨・筋肉・神経）の修復・再生に関する研究 ・骨・関節・腱・靭帯のバイオメカニクスに関する研究 ・脊椎・脊髄疾患の病態と修復・再生に関する研究 ・手の外科疾患の病態と治療，マイクロサージェリーに関する研究 ・骨・軟部腫瘍の病態と治療に関する研究 ・関節リウマチの病態と治療に関する研究 ・骨粗鬆症と高齢者脆弱性骨折に関する研究 ・サルコペニア，フレイルに関する研究 ・運動器リハビリテーションとQOLに関する研究 ・四肢・骨盤/脊椎・脊髄外傷とその修復再建に関する研究 ・四肢における人工関節に関する研究
		小児外科学	窪田 正幸 Tel 2254 e-mail kubotama@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児外科 ・小児内視鏡外科 ・小児固形悪性腫瘍 ・小児泌尿器外科 ・小児先天性呼吸器疾患 ・小児肝胆膵疾患 ・小児外科代謝栄養 ・小児鼠径部疾患
		腎・泌尿器病態学	富田 善彦 Tel 2285 e-mail ytomita@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腎・泌尿器男性生殖器の構造と機能 ・泌尿器科腫瘍学 ・尿路結石の発生のメカニズム ・尿器生理学とその病態生理 ・腎移植と免疫抑制療法 ・尿路形成手術・泌尿器科内視鏡学 ・泌尿器科的内分泌 ・アンドロロジー

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	機能再生医学	血液学	※ 曾根博仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・造血細胞の分化と白血病の病態に関する基礎的・臨床的研究 ・リンパ増殖性疾患の病態と治療開発に関する病理学的・臨床的研究 ・同種造血幹細胞移植に関わる移植免疫、幹細胞学の基礎的・臨床的研究 ・血栓止血・血管生物学に関する基礎的・臨床的研究
		消化器病態修復学	寺井崇二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器再生医学に関する研究 ・消化・吸収・代謝に関する研究 ・代謝に関わる免疫、脂肪化、線維化、癌化に関する研究 ・炎症と腸内細菌, Helicobacter Pyloriに関する研究 ・バイオマテリアルを用いた応用研究 ・橋渡し研究（遺伝子治療, 細胞治療, 内視鏡を用いた低侵襲治療） ・B型およびC型肝炎ウイルスに関する研究
感覚統合医学		神経生物・解剖学	竹林浩秀 Tel 2053 e-mail takebaya@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系の発生および生後発達に関する研究 ・神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析 ・RNA制御を介した神経系細胞機能の解析 ・再生医学による疾患克服を目指した基礎研究 ・モデル動物を用いた神経変性疾患の病態と治療に関する研究 ・高次脳機能発現の基盤となる神経回路の解析
		神経生理学	長谷川 功 Tel 2068 e-mail isaohasegawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚像認知/イメージの霊長類大脳メカニズム ・文字/記号認知の霊長類大脳メカニズム ・社会認知の霊長類大脳メカニズム ・全脳電気記録法/光遺伝回路操作法の開発
		精神医学	染矢俊幸 Tel 2209 e-mail psy@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科診断学 ・精神神経薬理学 ・精神疾患の分子遺伝学 ・精神疾患の分子生物学 ・精神疾患の神経画像学 ・こころの発達医学
		視覚病態学	福地健郎 Tel 2293 e-mail tfuku@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障性視神経症の細胞生物学的病態解明 ・緑内障治療のエビデンスと開発 ・原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障の遺伝子解析 ・緑内障性視野障害とQOLの関連 ・眼科手術学・レーザー治療学 ・眼感染症・化学療法, 眼薬理学 ・眼病理学 ・神経眼科学 ・小児眼科学 ・臨床視覚電気生理学
		耳鼻咽喉科学	堀井 新 Tel 2303 e-mail ahorii@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経耳科学, めまい平衡医学 ・側頭骨外科学 ・鼻科学 ・口腔咽頭科学 ・音声言語学 ・頭頸部腫瘍学 ・気管・食道科学
		機能画像医学	※ 青山英史 Tel 2315 e-mail h-aoyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・肺腫瘍の画像診断に関する研究 ・循環器疾患への新たな画像撮像法の応用に関する研究 ・画像診断手技を用いた種々の治療法に関する研究 ・中枢神経疾患の画像診断に関する研究
腎科学		腎構造病理学	問合せ先 准教授 矢尾板 永信 Tel 2152 e-mail eyaoita@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞間接着装置と細胞骨格を中心とした腎糸球体上皮細胞特性の解析 ・腎糸球体上皮細胞の培養法の確立 ・腎糸球体上皮細胞を中心とした糸球体構築の解析
		機能制御学	神吉智文 Tel 2156 e-mail kanki@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・異常なミトコンドリアを排除するミトコンドリアオートファジーと呼ばれる現象の分子機構 ・ミトコンドリアオートファジーの生理的意義 ・ミトコンドリアが原因となる疾患の治療法開発 ・新しいミトコンドリア解析技術の開発

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
生体機能調節医学	腎科学 可塑性機能制御	腎分子病態学	河内 裕 Tel 2159 e-mail kawachi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 腎糸球体の発生・分化の分子機構の解明 糸球体血管壁のバリアー機構の解明 腎病変発症・進展機序に関する研究 腎病変の新規治療法開発に向けた基礎研究
		システム脳生理学	澁木 克栄 Tel 0625 e-mail shibuki@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 脳機能の光イメージング 感覚連行野の機能 高次脳機能の分子・細胞メカニズム
		神経病理学	問合せ先 准教授 豊島 靖子 Tel 0641 e-mail yasuko@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 神経変性疾患（アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症など）の病理学 脳発生のメカニズムとその異常（神経細胞移動障害、てんかん、統合失調症など） 神経疾患の分子・細胞病理学 脳腫瘍外科病理診断学
		脳機能解析学	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 教授 五十嵐 博中 Tel 0676 e-mail higara@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 機能画像法を用いたヒト脳機能の研究 高分解画像を用いたヒト脳の微細構造の研究 偏微分方程式を用いたヒト脳機能の研究
		生体磁気共鳴学	五十嵐 博中 Tel 0676 e-mail higara@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究 超変極磁気共鳴分光法の生体応用
		脳病態病理学	柿田 明美 Tel 0673 e-mail kakita@bri.	<ul style="list-style-type: none"> 剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 神経精神疾患の神経病理学的研究 脳腫瘍やてんかん病巣の病態病理学的研究 神経変性疾患や免疫疾患の病態病理学的研究 発生発達期脳障害の病態病理学的研究
		形成・再建外科学	松田 健 Tel 2597 e-mail matsuken@med.	<ul style="list-style-type: none"> 微小外科学 再建外科学（頭頸部・四肢・乳房） 末梢神経再生に関する研究 顎顔面外科学（頭蓋骨形成異常・唇裂口蓋裂） 創傷治癒に関する研究
地域疾病制御医学	国際感染医学	ウイルス学	藤井 雅寛 Tel 2115 e-mail fujiimas@med.	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス性神経疾患の発症機構に関する研究 ウイルス性白血病の発症機構と治療法に関する研究 造血幹細胞と白血病幹細胞の維持機構に関する研究 ストレス顆粒によるストレス応答機構 HTLV-1関連脊髄症の発症機構と治療法に関する研究
		免疫・医動物学	片貝 智哉 Tel 2133 e-mail katakai@med.	<ul style="list-style-type: none"> 免疫系細胞の機能と動態 免疫組織の構造と働き リンパ節ストローマ細胞の機能 免疫関連疾患、感染免疫応答の分子病態生理 癌リンパ節転移の分子機構
		細菌学	松本 壮吉 Tel 2050 e-mail sohkichichi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 結核菌の細胞内寄生と結核発症の分子メカニズム 細菌に対する免疫応答解析 細菌の増殖制御や鉄代謝などの生命現象の解析 結核に対するワクチンや治療法の開発 アフリカやアジアの途上国における感染症の調査と国際協力
		国際保健学	齋藤 玲子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> 国内・海外のインフルエンザウイルス感染症の調査（インフルエンザ薬剤耐性・分子疫学、インフルエンザワクチンの有効性評価） RSウイルスなど呼吸器ウイルス性感染症の分子疫学と予防に関する研究 J-GRID「ミャンマーにおける呼吸器感染症制御へアプローチ」 途上国における感染症研究 GISを使った地域住民の健康とソーシャルキャピタル（地域のつながり・幸福度）の評価 GIS（地図情報システム）の感染症への応用 GISを使った福島県放射能分布地図 GISを使った地域の医療受給調査 地域の人口推計 国際保健

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
地域 疾病 制御 医学	国際感染医学	臨床感染制御学	※ 菊 地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 臨床感染症に関する研究 HIVの治療に関する研究 免疫不全と感染症に関する研究
		国際消化器感染病学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> 消化器疾患の内視鏡学的研究 ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 感染性腸炎に関する研究 消化性腫瘍に関する研究
		トランスレーショナルリサーチ	中 田 光 Tel 0847 e-mail radical@med.	<ul style="list-style-type: none"> 次世代再生医療技術の開発（培地の最適化・基材の最適化・品質管理・保存技術） 自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組み替えGM-CSF吸入療法が多施設共同医師主導治験（日本医療研究開発機構難治性疾患等克服事業採択課題） 遺伝性・続発性肺胞蛋白症の遺伝子診断と発症機序に関する研究
	地域予防医学	社会・環境医学	中 村 和 利 Tel 2124 e-mail kazun@med.	<ul style="list-style-type: none"> 骨粗鬆症、転倒骨折、膝関節症、慢性疼痛などの加齢性運動器疾患の予防に関する研究 認知症の予防医学研究（プロテオミクス研究） ビタミンD・カルシウムの疾病予防効果に関する研究 高齢者の身体機能低下に関する研究 胆のうがんの分子疫学研究 環境・産業医学 こころの健康に関する疫学研究
		法医学	高 塚 尚 和 Tel 2146 e-mail hisakazu@med.	<ul style="list-style-type: none"> 法医病理学 法医画像診断学 法医中毒学 子供の虐待とネグレクト 歯科法医学 死因究明に係る法律学 <p>なお、上記の教育・研究内容は、「死因究明に係る高度専門職業人育成プログラム」の一環として実施します。</p>
		予防医療学	担当教員不在のため 今年度募集なし	
		健康増進医学	※ 齋 藤 玲 子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療の評価 地域保健（地域における包括的公衆衛生対策） 生活習慣病の疫学と対策 健康政策学
		小児保健学	※ 齋 藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> 小児生活習慣病に関する研究
		リハビリテーション医学	※ 遠 藤 直 人 Tel 2269 e-mail endless@med.	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションに関する研究 生活設計、生活支援に関する研究 スポーツ医学に関する研究
		総合医療評価学	情報科学・統計学	赤 澤 宏 平 Tel 2471 e-mail akazawa@med.
薬剤評価学	外 山 聡 Tel 2248 e-mail toyama@med.		<ul style="list-style-type: none"> 薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む） 薬剤経済学 薬剤疫学とリスクマネジメント（副作用及び有害事象を含む） 	

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
口腔生命科学	口腔健康科学	微生物感染症学	寺尾 豊 Tel 2838 e-mail terao@dent.	誤嚥性肺炎の起因細菌等を分子レベルで解析し、感染症の病態形成の解明に繋がる研究を推進する。また、次世代イメージング機器等を用いた感染免疫現象の解析に基づく感染制御法ならびに予防法の考案を目指す研究を展開する。
		生体機能再生工学	泉 健次 Tel 2850 e-mail izumik@dent.	口腔粘膜の各種病態のインビトロモデルの構築と、口腔粘膜上皮幹細胞の同定やニッチ研究など、基礎医学生物学から臨床応用に至るまでの再生医療を担うトランスレーショナルリサーチと、チタンの表面性状と表面改質法および各種滅菌法が金属表面に及ぼす影響、ポリエーテルケトン樹脂の研磨特性、鋳造欠陥の発生機構に関する教育研究を行う。
		予防歯学	宮崎 秀夫 Tel 2856 e-mail hideomiy@dent.	「口腔保健医療に対応した国際イニシヤチブ人材育成プログラム」の構築に向けた教育課程を試行する。幼児・小児期のう蝕予防、成人の歯周病予防、高齢期の根面う蝕予防モデルの確立、疾患の発生前診断、地域診断、口腔健康と全身健康との因果関係について解明する。また、口臭症の基礎的、臨床的教育研究を行う。
		う蝕学	野 杵 由 一 郎 Tel 2863 e-mail noiri@dent.	歯科保存学の領域中、う蝕、歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態・病因論と治療法に関するトランスレーショナルリサーチを行う。特に、免疫学的・細菌学的病因論、修復・再生機構、生体材料の物性と生体適合性、ならびに先端的治療法の開発評価に関する教育研究を行う。
		小児歯科学	早崎 治明 Tel 2908 e-mail hayasaki@dent.	臨床的な視点から、1)小児の顎口腔機能(摂食、咀嚼、嚥下、呼吸、発声など)とその成長発育、2)歯磨きの動作等、基礎的な視点から、1)乳歯由来のiPS細胞を用いた再生医療、2)歯の形成障害に関する遺伝子、を中心として小児歯科・障がい者歯科に関わる教育研究を行う。
		生体歯科補綴学	魚 島 勝 美 Tel 2997 e-mail fish@dent.	デンタルインプラントの治療成績向上、確実な骨増生法の確立、歯根膜の再生、力と生体反応の関係解明、骨髄細胞の局所への動員機構解明、歯科金属アレルギーの疫学的調査、生体と歯科材料との関わりの解明、垂直歯根破折の治療法確立などを目的として、歯科補綴学に関連する生体変化の生物学的背景について教育研究する。
		顎顔面口腔外科学	高 木 律 男 Tel 2883 e-mail takagi@dent.	顎顔面口腔領域に発生する腫瘍・嚢胞・炎症・先天奇形・変形症及び顎関節・唾液腺の疾患について、その予防・診断ならび外科的処置を中心とする治療(再生医療を含む)による形態・機能の獲得と回復について教育研究を行う。
	摂食環境制御学	口腔解剖学	大 峽 淳 Tel 2816 e-mail atsushiohazama@dent.	人体の顎口腔諸器官の正常な形態、構造、発生過程に関して肉眼解剖学的、顕微解剖学(組織学)的、微細構造学的立場から、細胞生物学的側面、臨床的な観点を重視した教育研究を行う。また、顎口腔諸器官の形態機能形成の分子レベルでの解明も展開する。
		口腔生理学	山 村 健 介 Tel 2821 e-mail yamamurak@dent.	咀嚼・嚥下機能、発話機能、表情機能を動作学的に検討し、四肢運動の神経機構と比較考察し、それぞれの運動を制御している末梢性及び中枢性神経機構を教育研究を行う。さらに口腔顎顔面領域の痛覚機構を脳神経科学的な観点から追求する。
		口腔生化学	照 沼 美 穂 Tel 2827 e-mail mterunuma@dent.	口腔および脳機能の制御機構を細胞から個体レベルで解明するために、生化学的・細胞生物学的ならびに動物行動学的観点から教育研究を行う。それにより疾患の原因究明と治療法の開発を目指す。
		歯周診断・再建学	吉 江 弘 正 Tel 2869 e-mail yoshie@dent.	口腔疾患の一つである歯周病における免疫遺伝子学的・分子生物学的な新しい診断法を開発し、高度先進的な歯周組織再生・再建治療法、最新の治療評価系に関する教育研究を行う。

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
口腔生命科学	摂食環境制御学	歯科矯正学	齋藤 功 Tel 2902 e-mail isao@dent.	各種不正咬合の原因, 診断, 治療法に関する基本事項について教育するとともに, 骨格性および歯性の不正咬合の成立機序について考察し, 矯正学的対処法と治療による形態的・機能的変化について教育研究を行う。顎変形症・口唇裂口蓋裂といった集学的治療に係わる教育, 臨床研究も行っている。
		摂食嚥下リハビリテーション学	井上 誠 Tel 0733 e-mail inoue@dent.	加齢や各疾病に伴う摂食嚥下機能障害を追求し, それぞれの病態解明とともに, 診断・治療法について教育研究を行う。嚥下障害, 味覚障害・口腔乾燥症に関わる生理学・生化学をベースとした基礎ならびに診断・治療法に関する臨床的教育研究を行う。
		高度口腔機能教育研究センター	前田 健康 Tel 2815 e-mail maedat@dent.	口腔科学領域の先端的研究テーマを学際的アプローチから追求する。特に顎顔面口腔領域の神経科学的諸問題, 顎関節の生物学的特徴および病態, 口腔疾患における炎症・免疫・骨代謝・神経系の関与を解明し, 基礎シーズの臨床応用につながる教育研究を行う。
	顎顔面再建学	硬組織形態学	大島 勇人 Tel 2812 e-mail histoman@dent.	歯や骨などの硬組織の形成・発達・維持・再生現象等に関する制御機構を解明するため, 硬組織の構造と機能を肉眼レベルから組織・細胞レベルさらに発生生物学的観点から形態学的手法を用いて教育研究する。
		口腔病理学	(選考中) 問合せ先 講師 丸山 智 Tel 2834 e-mail maru@dent.	口腔領域に発生する各種疾患の病理発生機序を解明するため, 分子病理学的立場から, 病態研究方法の導入法並びに思考方法について教育研究する。
		歯科薬理学	佐伯 万騎男 Tel 2844 e-mail msaeki@dent.	顎口腔領域における腫瘍発生のメカニズムを解明することで, 口腔癌を含む腫瘍一般の新しい薬物治療を創出することを目標に, 歯科薬理学の教育研究を行う。
		包括歯科補綴学	小野 高裕 Tel 2891 e-mail ono@dent.	咀嚼・嚥下・構音障害に対する補綴装置を用いたリハビリテーションにおける, 診断, 治療, 評価法を教育するとともに, より効率的な手法の開発研究を行う。また, 医学・工学・食品分野とのコラボレーションにより, 研究成果を広く超高齢社会で応用できる人材を育成する。
		組織再建口腔外科学	小林 正治 Tel 2877 e-mail tadaharu@dent.	顎顔面口腔領域に発生する様々な疾患の診断ならびに治療に関する教育研究を行う。とくに先天異常, 顎変形症などの発育異常, 及び腫瘍切除後の組織欠損などに対する形態的, 機能的回復に関連する組織の再生・再建ならびにその評価法について教育研究を行う。
		顎顔面放射線学	林 孝文 Tel 2914 e-mail hayashi@dent.	顎顔面口腔領域に発生する種々の疾患の画像診断について, エックス線やCT, MRI, 超音波診断, 核医学などの先端的技术をエビデンスに基づいて導入・応用し, 患者にとって最善の結果をもたらす新規の診断システムの開発・普及について教育研究を行う。またがん治療に伴う有害事象に対する口腔管理の有効性についても教育研究する。
		歯科麻酔学	瀬尾 憲司 Tel 2972 e-mail seo@dent.	三叉神経損傷などによる慢性疼痛発生や痛覚過敏のメカニズムについて, 電気生理学的, 光学的, 免疫組織学的, さらには生化学的方法を応用して分析する。さらに新しい治療法の開発についても研究する。
	歯学教育研究開発学	藤井 規孝 Tel 0990 e-mail norisuke@dent.	歯科臨床教育の中でも, 特に技術教育に重点をおいて, より効果的かつ効果的な教育実践方法の開発を目指す。従来, 口頭や文章では説明しづらかった領域の技術教育を科学的に解明し, 高い客観性と再現性を備えた教育技術に関する研究を行う。	

2. 履修方法及び学位授与

- (1) 指導教員の指導の下に、授業科目等を定め、30 単位以上を原則として3年次末までに修得しなければなりません。単位履修の認定は、試験又は研究報告等により行います。

〈分子細胞医学専攻，生体機能調節医学専攻，地域疾病制御医学専攻〉

- ① 専攻共通科目 6 単位以上（講義 2 単位，演習 2 科目 4 単位以上）
- ② 専攻個別科目 20 単位以上
- ③ 他専攻科目 4 単位以上

〈口腔生命科学専攻〉

専攻共通科目 9 単位（必修科目 5 単位，選択必修科目 4 単位以上）以上を含む合計 30 単位以上

- (2) 本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得しさらに独創的な研究に基づく学位論文を提出して、その審査に合格し、かつ、学位論文を中心とする最終試験に合格した者に博士（医学）、博士（歯学）又は博士（学術）の学位を授与します。

3. 入学料の免除及び徴収猶予

次に該当する者で、入学料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 入学料の免除対象者
 - ・ 経済的理由により、入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・ 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者
 - ・ 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者
- ② 入学料の徴収猶予対象者
 - ・ 経済的理由により納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・ 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入期限までに入学料の納入が困難であると認められる者

4. 授業料の免除及び徴収猶予（延納又は月割分納）

次に該当する者で、授業料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、授業料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 授業料の免除対象者
 - ・ 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業が優秀であると認められる者
 - ・ 入学前1年以内において学資負担者の死亡、風水害による災害等の特別な事情により授業料の納入が著しく困難な者
- ② 授業料の徴収猶予対象者
 - ・ 経済的理由その他により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・ 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納入期限までに納入が困難であると認められる者

5. 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家族の経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（平成 29 年度の場合）

第一種 80,000 円, 122,000 円から選択

第二種 5 万円, 8 万円, 10 万円, 13 万円, 15 万円から選択

6. 学研災付帯学生生活総合保険

この制度は、学生生活全般に補償範囲を拡大したもので、感染予防費用（針刺し時に講じた予防措置費用の健康保健等の自己負担分）や、損害賠償金（学生生活において偶然に発生した自己により他人にケガをさせたり、財物等を損壊して支払わなければならない賠償金）にも対応可能な補償内容となっております。詳細については、後日合格者に送付する「入学案内」で周知します。

7. 大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例について

社会人が大学院博士課程で学ぶ場合、現在の職業を退職あるいは休職でもしない限り大学院に入学し所定の単位を修得し、学位を取得することは困難であります。

そこで、本大学院医歯学総合研究科では、このような社会人に対し、大学院設置基準第 14 条「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」という規定を導入して教育方法の特例を実施しております。

この特例により、社会人学生は、それぞれのテーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の時間帯における授業のほか、夜間その他特定の時間又は時期における授業による単位修得の便宜を受けるとともに研究を継続させ、博士論文を作成することになります。特例を受けようとする者は、入学後、研究科長に特例適用の申請を行わなければなりません。

8. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

また、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Med. Field).
Doctoral Program Entrance Guidance

1. Term of Study

Doctoral Program: four years

2. Requirement for completion

The student is required to register for at four years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

3. Presentation of Diplomas

Niigata University confers the degree of Doctor of Philosophy on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis and graduation examination.

4. Fees

(1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)

(2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

5. Exemption and Reduction of Entrance Fee

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

6. Exemption and Reduction of Tuition Fee

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

7. Contact information

1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata, Niigata 951-8510, Japan

Mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

[Note] Please contact with a department that you hope to study in advance when you apply.